



自然再生全国会議参加報告

平成30年11月26日~27日
静岡県静岡市

自然再生全国会議の目的

- 自然再生協議会等の構成員がその取組状況について情報交換を実施し、参考となる事例や課題への対応策等の情報共有を図る
- 自然再生事業地の現地視察等を行うことで、さらなる自然再生の推進を図っていく

→各地の協議会や関係省庁から52団体、計74名が参加

開催地（麻機遊水地） ※静岡県静岡市



開催地（麻機遊水地） ※静岡県静岡市



麻機遊水地の歴史①

- 元々はヨシなどが生い茂る低湿地帯で、沼地が散在し、多くの渡り鳥が飛来していた

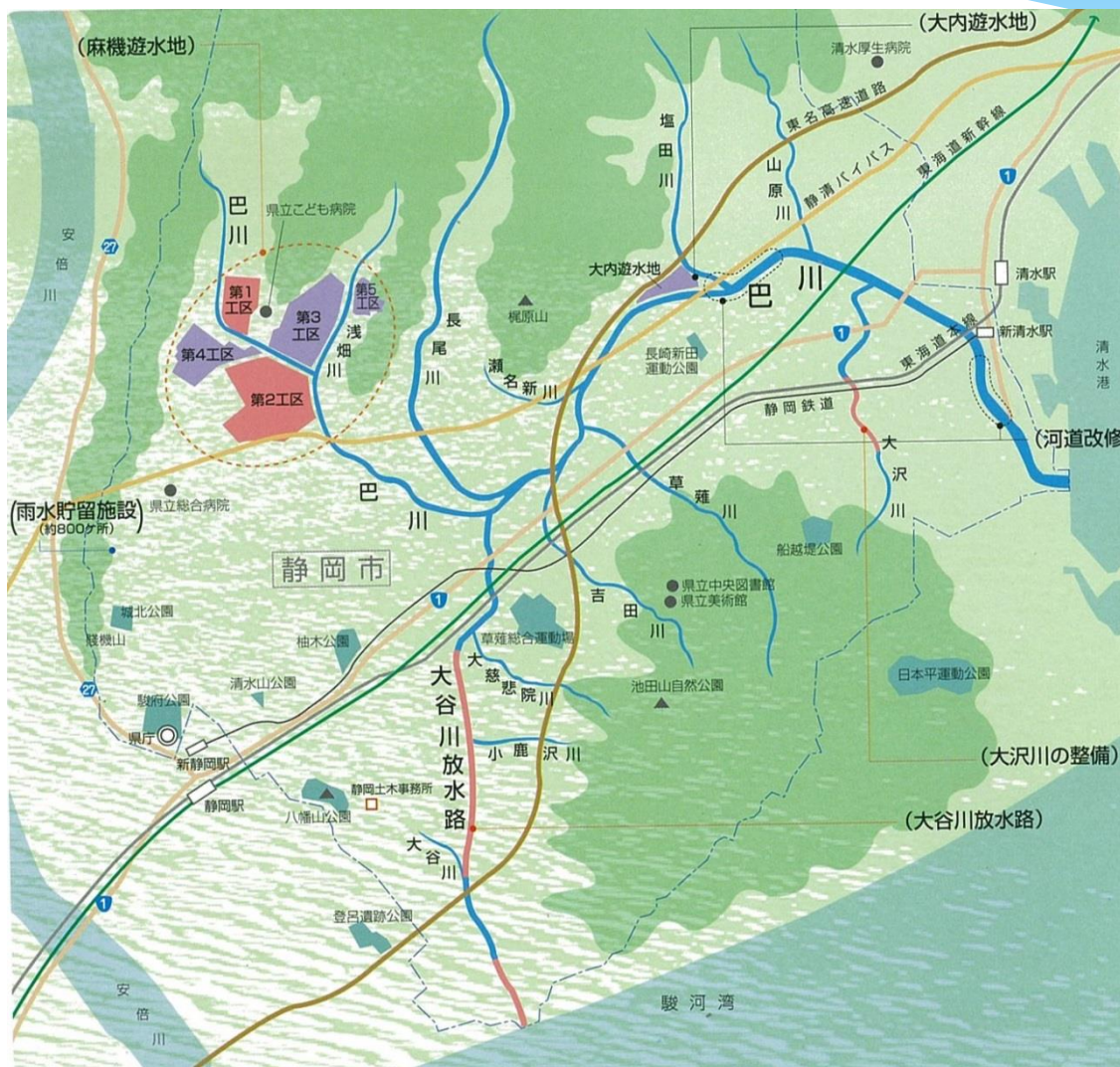


昭和30年代後半から土地改良事業が始まり、水田として整備され、徐々に沼地が無くなった

1958年(昭和33年)頃の写真(現在の第3工区)

麻機遊水地の歴史②

➤ 昭和49年(1974年)の七夕豪雨発生！巴川が氾濫！



七夕豪雨以降を契機に、洪水時の水位を下げるために、水田から遊水地への整備が始まった



平成に入ってから11回も氾濫しているため、現在も治水対策を実施している

自然再生協議会の設立へ

- 治水整備により埋土種子が掘り起こされた箇所では、水田や沼に生育していた数多くの攪乱依存種が芽生えた
- 遊水地整備により池沼部が形成され、魚類や水生昆虫が生息するようになり、さらにこれらを餌としたり水辺を利用する野鳥が多く飛来するようになった



平成16年1月 巴川流域麻機遊水地自然再生協議会設立
(現：麻機遊水地保全活用推進協議会)

協議会の組織体制

総会

- ・会長
- ・学識経験者
- ・地域代表
- ・各部長、副部長
- ・行政

顧問

事務局

監事

部会

自然再生部会

自然環境の保全、再生、創出、維持管理に関する協議及び活動

地域活性化部会

緑地緑道等の計画やイベント、利活用を図るための協議及び活動

ベーター麻機部会

障害者、高齢者等との共生社会を実現するための協議及び活動

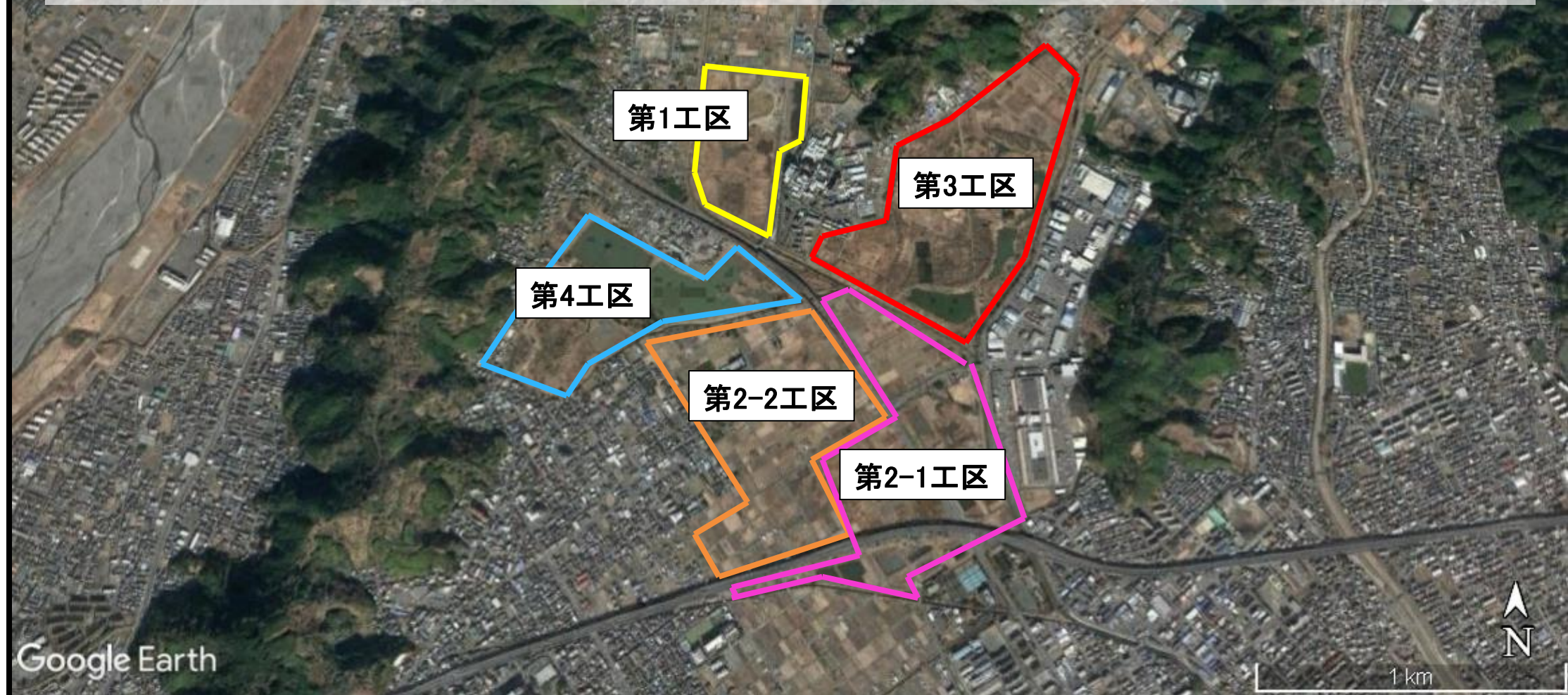
専門委員会

麻機遊水地保全活用推進協議会の概要

- 課題：湿地生態系の保全・再生、良好な水環境の再生
- 目標：麻機遊水地に昔から暮らしてきた多様な生き物たちが、遊水地で生息・生育できる環境を再生していくことを目指す

自然再生の対象区域

自然再生全体構想では、比較的良好な湿地環境が残る5つの工区（約160ha）を自然再生の対象区域としている。



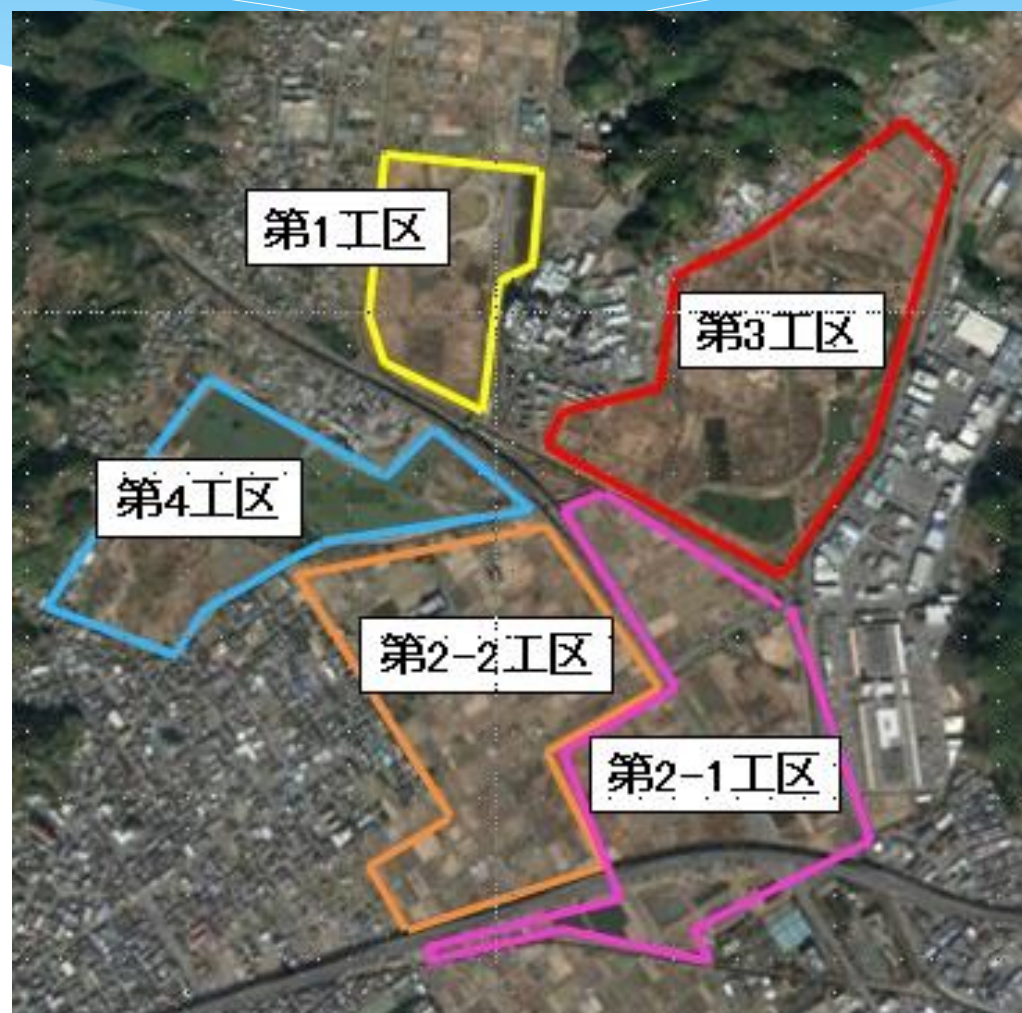
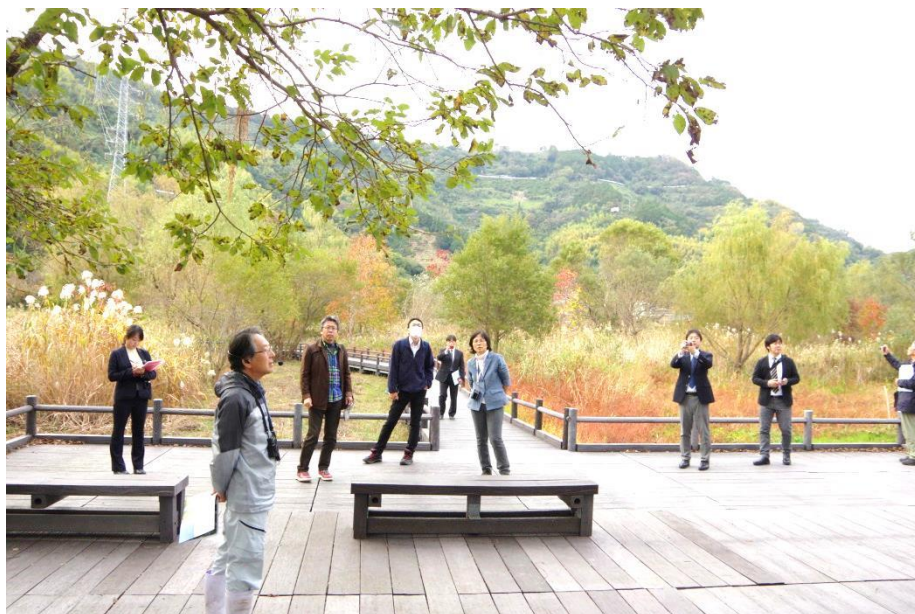
対象区域の様子①

第3工区



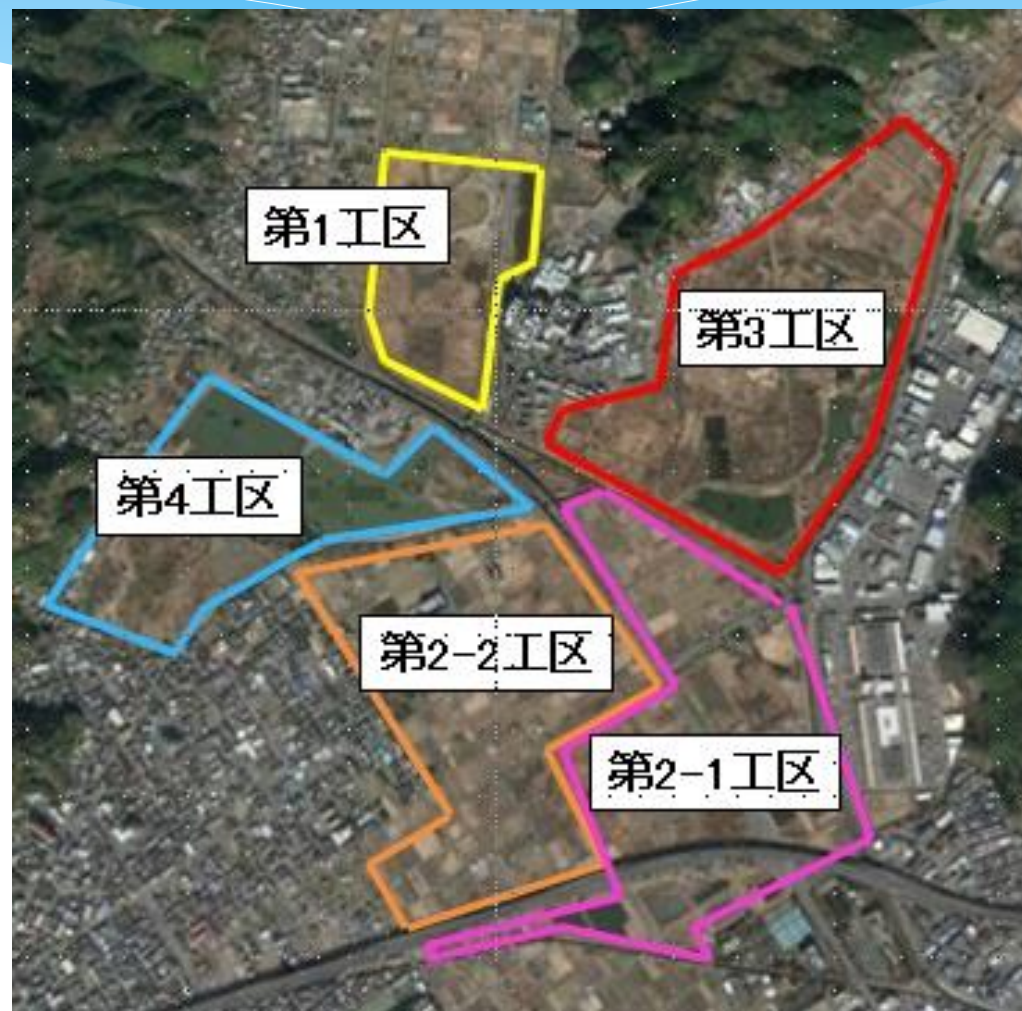
対象区域の様子②

第4工区



対象区域の様子③

第1工区



全国会議で出された意見など

- 民間が実施している事業や活動などに対して、それを後押しするような仕組みや、その事業のPRなどを行政や国の方でも施策にしていきたい
- 地域主導といいつつもボランティアベースの自然再生活動には限界があるため、経済的手法を検討してほしい
- 地方との連絡の取りまとめ、情報共有が不足していると感じられる、省内・省間の関係性を再構築してほしい